

# 伊勢・三河湾貧酸素情報 (H28-3号)

平成28年6月24日  
愛知県水産試験場 漁場環境研究部

平成28年6月23日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しましたが、その結果は以下のとおりです。

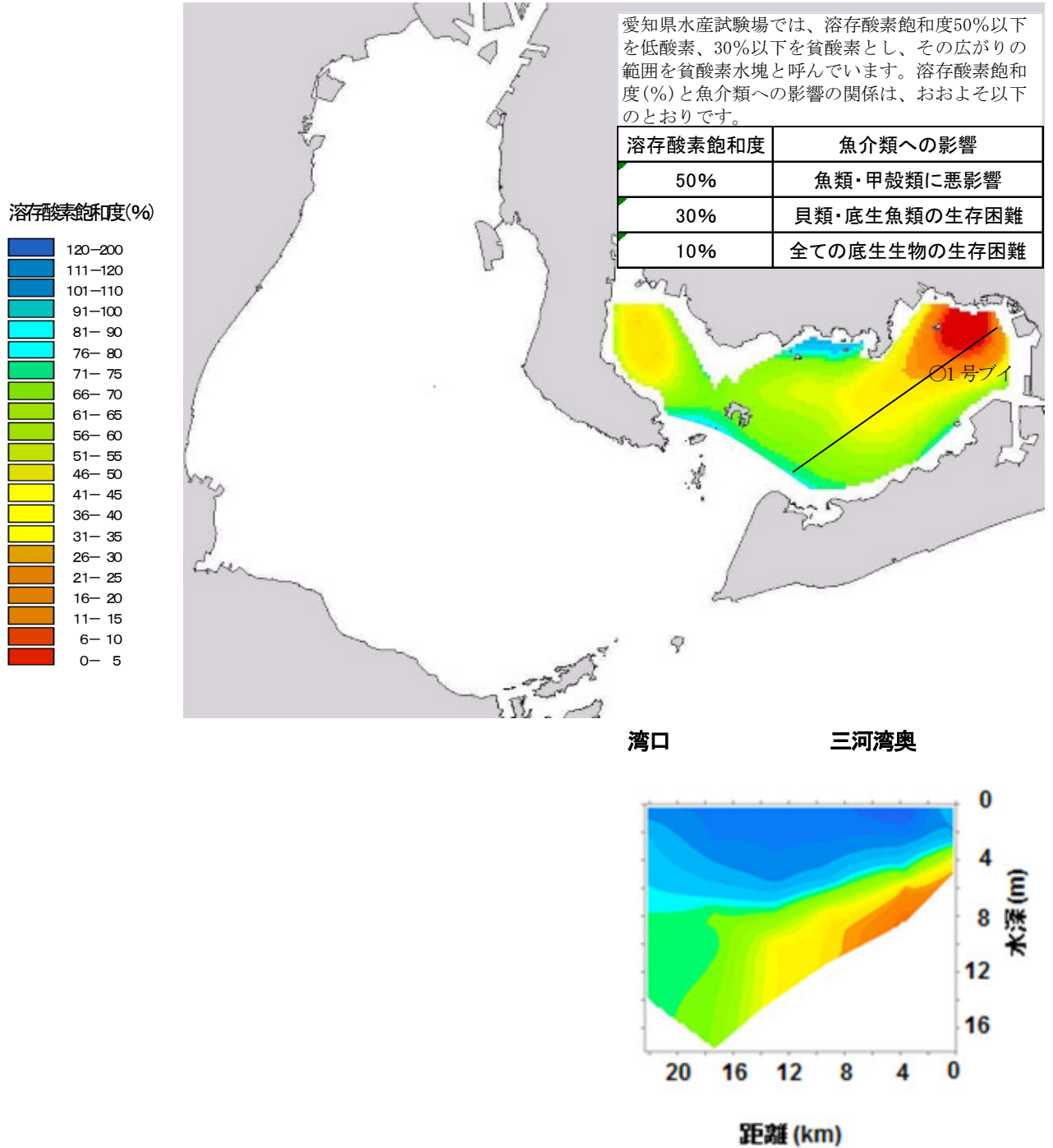


図1 三河湾(6月23日)底層の溶存酸素飽和度の分布(上図)及び上図直線部分の鉛直分布(下図)  
(愛知県「へいわ」調査)

### 三河湾

6月23日の調査結果を図1に示しました。前回調査(6月17日)で知多湾西部と渥美湾奥部で貧酸素水塊が確認されましたが、今回の調査では渥美湾奥部で確認され、規模は拡大していました。

自動観測ブイ(1号ブイ:蒲郡沖)のデータを見ると、東よりの風が強かった6月16日に海水が上下混合し、底層の溶存酸素濃度は一時的に上昇しましたが、その後、躍層ができ徐々に低下しています(図2)。

今後は、表層の水温上昇と低塩分化により成層化が進み、貧酸素水塊が拡大すると思われます。

	水温(°C)		塩分	
表層	23.0	~ 26.0	21.4	~ 31.5
底層	20.1	~ 22.7	31.0	~ 32.7

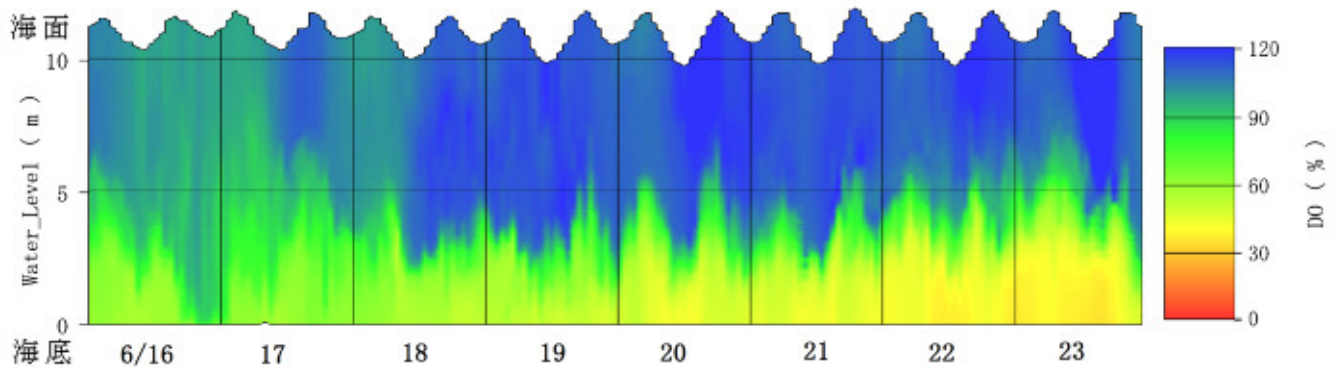


図2 溶存酸素飽和度(DO)の経時変化(自動観測ブイ1号)

### 参考

前回調査時の底層の溶存酸素状況

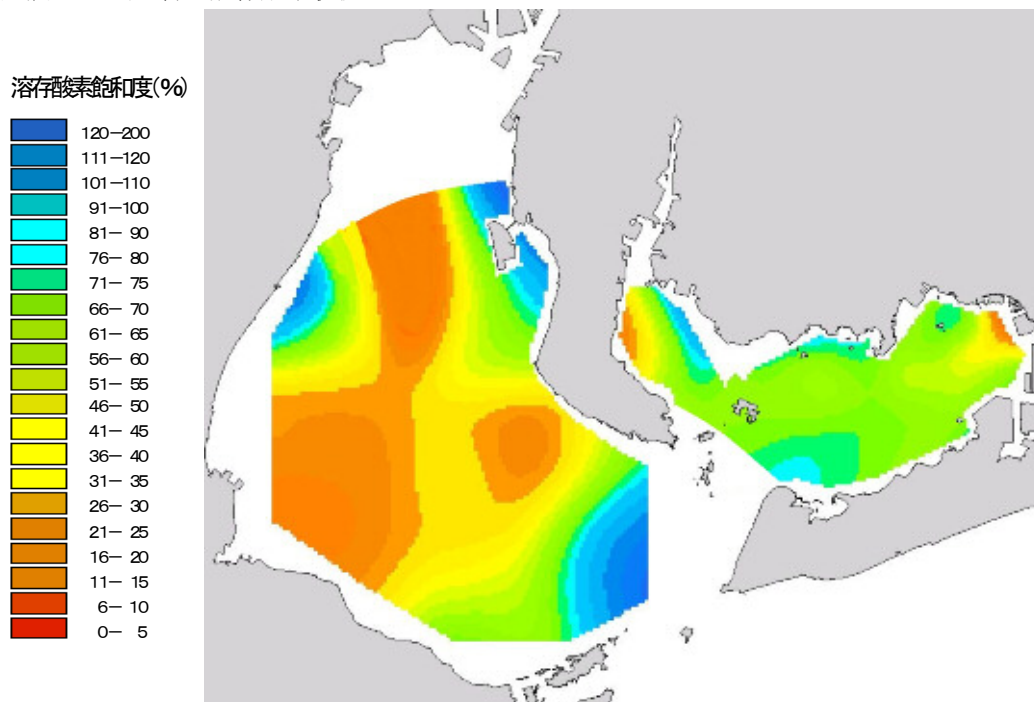


図3 平成28年6月6,7日(伊勢湾)、6月17日(三河湾)